第4回 神保町シンポジウム

本の街・神保町は、なぜ世界一クールなのか

神保町から本の文化を世界に



世界的な情報誌『タイムアウト』で
世界一クールな街に選ばれた神保町。
その魅力をひもときながら、
神保町が象徴する本の文化を発信していくための
課題と展望を語り合います。

2026 12.9 [wed] 18:00 ▸▸ 20:10

出版クラブビル 3階ホール 千代田区神田神保町
定員 280名

聴講無料 / 要事前登録
https://jimbocho-symposium-20261209.peatix.com

PROGRAM

18:00-18:10	開会のご挨拶	上川陽子（活字文化議員連盟会長）
18:10-18:40	対談 「世界一クールな街　神保町の魅力とは？」	俵万智（歌人）× 吉見俊哉（社会学者）
18:40-19:10	神保町関連プロジェクト活動報告	東京文化資源会議　真鍋陸太郎　事務局次長 千代田区の取り組み　樋口高顕　千代田区長 出版文化産業振興財団　松木修一　専務理事 文字・活字文化推進機構　山口寿一　理事長
19:10-19:20	休憩	
19:20-20:10	座談会 「神保町から本の文化を世界に」	（登壇者、50音順・敬称略） 岡本　正史（集英社 コンテンツ事業部 次長） 柴野　京子（上智大学 教授） 俵　万智　（歌人） 伏谷　博之（タイムアウト東京 代表） 吉見　俊哉（國學院大学 教授、東京文化資源会議 会長）：司会

主催　東京文化資源会議　https://jimbocho.site/　|　共催　神保町文化発信会議　|　協賛　読売新聞東京本社

SPEAKERS

登壇者（50音順）



岡本　正史　Masashi Okamoto

「集英社マンガアートヘリテージ」プロデューサー

集英社 コンテンツ事業部次長。東京芸術大学美術学部卒業後、株式会社集英社入社。女性誌を経て、マンガ制作のデジタル化に参加。集英社刊行の主要コミックスをアーカイブしデータベース運用する「Comics Digital Archives」や、「Manga Factory」「SSDB（集英社総合データベース）」などの基幹システムを立ち上げ。2021年、越境ECサービス「集英社マンガアートヘリテージ」をローンチ。2023年11月24日、麻布台ヒルズにリアルギャラリーをオープン。ニューヨーク、マイアミ、サンフランシスコ、京都、ヴェネツィアなどで展示を行う。



柴野　京子　Kyoko Shibano

上智大学 文学部新聞学科 教授

出版取次会社勤務の後、東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。同大学新図書館構想担当の特任助教を経て2012年より上智大学。専門は出版および知識基盤、メディア論。主著に『書棚と平台―出版流通というメディア』（弘文堂、2009年）、監訳に『オックスフォード出版の事典』（丸善出版、2023年）ほか共著多数。日本出版学会会長、NPO本の学校理事長、国立国会図書館納本制度審議会委員等を務める。



俵　万智　Machi Tawara

歌人

早稲田大学文学部卒。1986年、作品「八月の朝」で第32回角川短歌賞受賞。
1987年、第一歌集『サラダ記念日』を出版、ベストセラーとなり、社会現象を巻き起こす。翌年、『サラダ記念日』で第32回現代歌人協会賞を受賞。2004年 評論『愛する源氏物語』で第14回紫式部文学賞を受賞。第四歌集『プーさんの鼻』で2006年 第11回若山牧水賞を受賞。歌集の他、評伝、エッセイなど著書多数。歌集『未来のサイズ』で詩歌文学館賞、迢空賞を受賞。長年の清新な創作活動と短歌の裾野を広げた功績により、朝日賞受賞ならびに紫綬褒章を受章。最新刊『生きる言葉』が大きな反響を呼び、幅広い世代から深く支持されている。



伏谷　博之　Hiroyuki Fushitani

ORIGINAL Inc. 代表取締役、タイムアウト東京代表

島根県生まれ。関西外国語大学卒。大学在学中にタワーレコード株式会社に入社。2005年代表取締役社長に就任。同年ナップスタージャパン株式会社を設立し、代表取締役を兼務。
タワーレコード最高顧問を経て、2007年 ORIGINAL Inc.を設立。代表取締役に就任。2009年にタイムアウト東京を開設。観光庁アドバイザリーボード委員（2019-2020）のほか、農水省、東京都などの専門委員を務める。観光新時代 / NEXTOURISMを提唱する一般社団法人 日本地域国際化推進機構 代表理事



吉見　俊哉　Toshiya Yoshimi

國學院大学 観光まちづくり学部 教授、東京大学名誉教授

社会学者。1957年生まれ。上演論的アプローチから都市論、メディア論を展開。日本のカルチュラル・スタディーズで中心的な役割を果たした。長く東京大学で教え、大学院情報学環長、大学総合研究センター長、教育企画室長、同大学副学長、東京大学新聞社理事長、東京大学出版会理事長などを歴任。主な著書に、『都市のドラマトゥルギー』『博覧会の政治学』『大学とは何か』『視覚都市の地政学』『五輪と戦後』『東京裏返し』『東京復興ならず』『敗者としての東京』『アメリカ・イン・ジャパン』等多数。